

# 事務局報

2018年8月24日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人  
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

## 〔第140回〕銀行業務検定試験成績発表

### 金融経済3級、デリバティブ3級が好成績

去る6月3日（日）に実施いたしました第140回銀行業務検定試験の成績結果ができましたので、ご参考までに発表します。

上記試験の成績に関する受験者および研修ご担当者の皆様へのご通知・ご報告は7月31日（火）までにすべての手続等を完了させております。

#### 法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

#### 主要項目

- ▶〔第140回〕銀行業務検定試験成績発表
- ▶団体賞受賞団体等一覧
- ▶団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶研修所紀行
- ▶都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶10月試験のご案内

応募者数5,780名中受験者は4,762名で、合格者は1,192名でした。合格率25.03%、平均点40.66点で、前回（2017年10月）に比べて、合格率は2.07ポイント下回り、平均点は2.03点下回りました。

最高点は91点で、須磨美月さん（三井住友信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈預金〉分野では、〔問題-2〕預金への差押えの競合が2.98点、〔問題-3〕成年後見人等との預金取引で3.85点と低い平均点となりました。〔問題-2〕の預金への差押えの競合は頻出テーマですが、受験者の多くが苦手とする分野であり、とくに滞納処分にもとづく差押えが絡んだ問題を苦手とする受験者が多い傾向にあります。一度、仮差押え、差押え、滞納処分にもとづく差押えについて整理してください。また、〔問題-3〕

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

（合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	174	2,302	216	300	1,798	157	124	55	7	0	11	636	5,780
応募比率	3.01	39.83	3.74	5.19	31.11	2.72	2.15	0.95	0.12	0.00	0.19	11.00	100.00
受験者数	158	1,992	145	241	1,572	121	105	40	2	0	9	377	4,762
受験率	90.80	86.53	67.13	80.33	87.43	77.07	84.68	72.73	28.57	0.00	81.82	59.28	82.39
合格者数	68	537	51	60	294	11	32	13	2	0	1	123	1,192
合格率	43.04	26.96	35.17	24.90	18.70	9.09	30.48	32.50	100.00	0.00	11.11	32.63	25.03
平均点	46.79	41.56	42.43	39.77	38.55	35.49	40.47	41.45	68.00	0.00	39.33	43.56	40.66
年齢	26.5	31.7	32.4	37.1	36.7	37.9	37.6	37.2	31.5	0.0	45.0	35.7	34.1
勤続年数	3.8	9.0	9.3	14.3	14.2	14.9	14.6	12.8	7.5	0.0	21.0	11.3	11.4

成年被後見人等との預金取引は、成年後見・保佐・補助の違いをしっかりと把握していない受験者が多く、低い結果となりました。

〈手形・小切手〉分野は、〔問題－6〕電子記録債権が3.72点となっており、低い結果となりました。手形・小切手の取扱いが減少傾向にあるなか、電子記録債権のシェアが増加することも見込まれますので、早めに理解しておきましょう。

苦手にされている方が多い〈融資〉分野では、〔問題－7〕相続債務の取扱いが3.10点、〔問題－8〕債務者の行方不明と保証・担保が2.51点、〔問題－9〕信用保証協会保証付融資が4.93点、〔問題－10〕差押え・代理受領による債権回収が1.57点となっています。〔問題－9〕を除くと、過去問題に比べて論点の切り口が異なり苦戦した受験者が多かったようです。しっかりと基本を学習することで、論点の切り口が変わっても対応が可能です。

今後は、さまざまなファイナンス手法や金融商品の取扱いが増えていくことになります。しかし、基本的な法的根拠は、法務2級や3級を受けるために学習した内容で対応できることも少なくありません。まずは基本を重視して、新しい金融業務への法的理解をしてください。

### 法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表－2〕のとおりです。

応募者数 21,514 名中受験者は 19,457 名で、合

格者は 6,483 名でした。合格率は 33.32%、平均点は 51.90 点で、ともに前回（2017 年 10 月）を上回りました。

最高点は 100 点で、平山創さん（三井住友信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈融資〉分野の〔問－11〕取引の相手方（27.29%）、〔問－19〕債務の相続（26.77%）、〔問－22〕民事再生手続（27.40%）、〔問－23〕消滅時効（13.13%）の 4 問、〈決済〉分野の〔問－28〕代金取立の当事者の法律関係（29.84%）の 1 問で、計 5 問でした。〈融資〉分野については、この他にも正解率が 30% 台の問題が複数あり、苦手とする受験者が多いように見受けられます。

とくに正解率が低かった〔問－23〕は、時効の援用（民法 145 条）、時効の利益の放棄（同法 146 条）等について理解を問うものでした。時効による権利の得喪が完全な効力を生じるためには、時効の利益を受ける者（援用権者）によって時効の利益を受けるという意思表示（時効の援用）がなされる必要があります。当事者の援用がないかぎり、裁判所は時効を基礎として裁判をすることができません。消滅時効は頻出のテーマであり、条文の正確な理解が求められます。

他方、〈預金〉、〈銀行取引関連法〉分野では、正解率が 30% 以下となった問題はなく、好成績でした。このうち〈銀行取引関連法〉分野は、科目構成の変更に伴い出題数が 5 問から 10 問に増えましたので、今後も多様なテーマに対応できる

〔表－2〕 法務3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	564	6,577	971	1,893	5,183	879	1,973	608	3	9	260	2,594	21,514
応募比率	2.62	30.57	4.51	8.80	24.09	4.09	9.17	2.83	0.01	0.04	1.21	12.06	100.00
受験者数	538	6,154	865	1,727	4,763	813	1,814	551	2	8	214	2,008	19,457
受験率	95.39	93.57	89.08	91.23	91.90	92.49	91.94	90.63	66.67	88.89	82.31	77.41	90.44
合格者数	255	2,130	379	500	1,437	197	472	177	0	2	57	877	6,483
合格率	47.40	34.61	43.82	28.95	30.17	24.23	26.02	32.12	0.00	25.00	26.64	43.68	33.32
平均点	58.55	52.58	54.77	50.69	50.55	49.03	48.12	51.97	54.00	50.50	49.96	55.85	51.90
年齢	23.7	26.0	25.7	27.2	27.8	29.3	33.2	30.1	28.5	37.5	38.5	30.2	28.0
勤続年数	1.1	3.4	3.2	4.9	5.6	7.0	10.1	5.2	8.5	4.8	14.0	6.6	5.2

よう、幅広く学習しましょう。

## 財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数8,432名中受験者は6,683名で、合格者は1,332名でした。合格率は19.93%、平均点は42.18点で、ともに前回(2017年10月)を大きく下回りました。

最高点は93点で、若山宗士さん(三菱UFJ信託銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題-5〕税効果会計(平均点:3.50点)でした。次に低かった問題は、〔問題-9〕キャッシュ・フロー計算書の作成(直説法)と分析(平均点:2.96点)でした。

一方で、〔問題-1〕修正仕訳と貸借対照表項目の算定、〔問題-6〕収益性諸指標による2社比較分析、〔問題-7〕生産性分析は、過去に類似問題が出題されており、良く解答できていました。

〔問題-5〕税効果会計は、与えられた資料から税効果会計に関する各項目の額を算出する問題で、3級でも出題される問題です。税務上の調整項目が、「将来減算一時差異」や「永久差異」など、どのような差異に該当するのかを判断しなければ得点できないため、正確な知識を身につけましょう。

〔問題-9〕キャッシュ・フロー計算書の作成

(直説法)と分析は、比較貸借対照表、損益計算書から「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分を直接法により作成し、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の状況を分析する問題で、2016年にも出題されている問題です。直接法は間接法と比較して、実務上、手数がかかるという欠点もありますが、営業活動の規模がわかるため、明瞭表示できるという利点もあります。

全体の傾向としては、計算過程を明示していない、四捨五入の位取りを誤っている、単位の表示を誤っているなど、問題文の指示に沿わない計算結果を示しているミスが散見されました。

財務分析の問題では、算出した諸指標の数値を具体的に明示しながら、分析した内容を説明すると良い解答となりますので、今後の参考としてください。

## 財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-4〕のとおりです。

応募者数17,950名中受験者は15,423名で、合格者は4,281名でした。合格率は27.76%、平均点は47.95点で、ともに前回(2017年10月)を下回りました。

最高点は100点で、齋藤歩さん(みずほ信託銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-14〕貸借対照表に計上される社債の額、〔問-18〕営業外損益に該当しないもの、〔問-24〕法人税等

〔表-3〕財務2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	266	3,643	331	661	1,940	89	84	5	29	3	32	1,349	8,432
応募比率	3.15	43.20	3.93	7.84	23.01	1.06	1.00	0.06	0.34	0.04	0.38	16.00	100.00
受験者数	240	3,055	233	515	1,627	74	78	4	16	3	22	816	6,683
受験率	90.23	83.86	70.39	77.91	83.87	83.15	92.86	80.00	55.17	100.00	68.75	60.49	79.26
合格者数	94	547	69	78	208	11	25	2	9	0	4	285	1,332
合格率	39.17	17.91	29.61	15.15	12.78	14.86	32.05	50.00	56.25	0.00	18.18	34.93	19.93
平均点	52.46	41.75	44.00	39.68	37.72	38.09	50.54	51.25	57.81	33.67	43.27	49.97	42.18
年齢	25.2	30.1	30.3	33.4	34.7	35.6	33.2	33.8	26.0	29.3	41.4	31.9	31.7
勤続年数	2.4	7.6	6.9	10.3	12.4	13.0	10.1	12.7	3.6	6.3	17.4	8.6	9.1

調整額の算出と仕訳、〔問－41〕労働装備率、〔問－44〕運転資金の所要額の算出、の5問でした。

〔問－18〕は、営業外損益に該当しない勘定科目を解答する問題です。「創立費」は繰延資産ですが、繰延資産の償却費である「創立費償却」は営業外費用であることを理解していたかがポイントとなりました。

〔問－24〕は、法人税等調整額の算出後の仕訳を解答する問題です。過去問題では、法人税等調整額を算出するのみで解答できましたが、仕訳まで理解していたかがポイントとなりました。

〔問－44〕は、運転資金の所要額を算出する問題です。本問は、頻出の問題ですが、資料の項目が「年間売上高」であることに気づき、「平均月商」(年間売上高÷12ヵ月)にしてから算出していたかがポイントとなりました。

全体として、問題の設問文や資料、選択肢をよく読まずに解答したと思われる答案が目立ちまし

た。

本種目では、基本的な知識を確実に身につけることはもちろん、出題の切り口や算出方法を変えた出題にも対応できるよう学習することは高得点につながります。

**財務4級**

「財務4級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数2,883名中受験者は2,680名で、合格者は1,845名でした。合格率は68.84%、平均点68.27点で、前回と同水準の結果となりました。

最高点は100点で、喜多見遥さん(栃木銀行)、永野洋子さん(東京センチュリー)、中村哲也さん(トータル保険サービス)、石井裕也さん(日立キャピタル)、澤田梓未さん(OKBビジネス)、谷口遥香さん(京都中央農業協同組合)、の6名が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表－4〕財務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	490	5,259	294	1,526	5,105	880	660	65	236	12	353	3,070	17,950
応募比率	2.73	29.30	1.64	8.50	28.44	4.90	3.68	0.36	1.31	0.07	1.97	17.10	100.00
受験者数	474	4,782	232	1,300	4,549	770	593	51	169	12	283	2,208	15,423
受験率	96.73	90.93	78.91	85.19	89.11	87.50	89.85	78.46	71.61	100.00	80.17	71.92	85.92
合格者数	311	1,392	103	275	942	145	127	17	41	10	41	877	4,281
合格率	65.61	29.11	44.40	21.15	20.71	18.83	21.42	33.33	24.26	83.33	14.49	39.72	27.76
平均点	63.35	48.81	54.87	45.66	44.78	43.49	44.83	50.55	44.01	73.00	39.77	53.45	47.95
年齢	23.6	26.1	30.2	28.4	28.2	30.6	32.4	30.1	28.6	27.9	38.7	30.6	28.3
勤続年数	1.2	4.0	7.9	6.5	6.6	8.9	10.0	6.5	5.4	3.8	16.0	7.3	6.1

〔表－5〕財務4級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	8	139	0	373	1,321	351	359	12	1	0	3	316	2,883
応募比率	0.28	4.82	0.00	12.94	45.82	12.17	12.45	0.42	0.03	0.00	0.10	10.96	100.00
受験者数	7	132	0	348	1,244	334	328	11	1	0	2	273	2,680
受験率	87.50	94.96	0.00	93.30	94.17	95.16	91.36	91.67	100.00	0.00	66.67	86.39	92.96
合格者数	7	89	0	228	905	197	192	9	1	0	0	217	1,845
合格率	100.00	67.42	0.00	65.52	72.75	58.98	58.54	81.82	100.00	0.00	0.00	79.49	68.84
平均点	84.57	67.52	0.00	66.05	69.32	63.98	64.16	76.55	80.00	0.00	43.00	76.20	68.27
年齢	27.3	26.0	0.0	23.7	24.7	24.2	25.5	36.7	33.0	0.0	50.0	30.1	25.3
勤続年数	2.8	4.5	0.0	1.8	3.1	2.9	3.6	6.6	10.0	0.0	25.5	4.6	3.2

正解率が30%以下となった問題は、〔問－50〕営業活動によるキャッシュ・フローの減少要因の1問でした。

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕簿記上の取引とならないもの、〔問－2〕貸借対照表等式、〔問－7〕会計帳簿、〔問－13〕商品仕入の仕訳、〔問－14〕先入先出法による期末商品棚卸高の額の算出、〔問－18〕工事代金の一部を支払った取引の貸方勘定科目、〔問－24〕売掛金が回収不能となったときの仕訳、〔問－26〕売上総利益の算出、〔問－27〕貸借対照表上の商品、〔問－45〕損益分岐点売上高の算出、の10問でした。例年出題されているテーマについては正解率が高く、よく学習されていることが窺えます。

また、〔問－39〕会社設立時（増資）の仕訳、〔問－40〕消費税等の仕訳、の2問は、今回、初めて出題しましたが、正解率が良好なことから、基本的な仕訳を理解されていることが窺えました。

財務4級では、仕訳からスタートして、財務諸表、財務分析までの入門レベルの問題が幅広く出題されます。上級の財務3級や財務2級の土台となる試験ですので、基礎レベルの知識をしっかりと身につけてください。

### 信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数5,231名中受験者は4,548名で、合格

者は1,574名でした。合格率は34.61%、平均点は51.79点で、ともに前を下回りました。

最高点は98点で、杉浦淳哉さん（三井住友信託銀行）、松山英生さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕信託の歴史、〔問－12〕受益者代理人、〔問－23〕確定拠出年金制度、の3問でした。全体としては良好な結果となりましたが、科目別にみると前回に引き続いて〈従業員福祉に関する信託〉の成績がやや低調でした。

年金制度や年金税制については、個人型の確定拠出年金の制度拡充など、近年変更点が多いため、知識の再確認を行ってください。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－8〕信託事務処理の委託の1問でした。〔問－8〕は信託事務処理の委託につき、信託法に規定されている内容を問うもので、正確な理解が必要となる出題です。

本種目の学習においては、信託の基本的な考え方を理解し、制度を正確に把握することが重要です。基本書となる参考図書や通信講座を学習するとともに、各種関連法令にも実際にあたることをお勧めします。

### 金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数3,457名中受験者は2,922名で、合格

〔表－6〕 信託実務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	173	799	2,309	72	308	7	33	5	1	10	0	1,514	5,231
応募比率	3.31	15.27	44.14	1.38	5.89	0.13	0.63	0.10	0.02	0.19	0.00	28.94	100.00
受験者数	164	705	2,112	57	271	5	32	5	1	9	0	1,187	4,548
受験率	94.80	88.24	91.47	79.17	87.99	71.43	96.97	100.00	100.00	90.00	0.00	78.40	86.94
合格者数	57	208	786	19	49	0	12	1	0	7	0	435	1,574
合格率	34.76	29.50	37.22	33.33	18.08	0.00	37.50	20.00	0.00	77.78	0.00	36.65	34.61
平均点	53.30	50.06	53.16	48.74	44.10	41.20	48.88	44.40	48.00	68.22	0.00	52.08	51.79
年齢	26.6	36.4	29.8	37.7	39.6	32.8	38.4	27.6	26.0	33.9	0.0	36.9	33.3
勤続年数	4.0	14.0	6.6	14.0	17.9	9.5	16.0	5.8	3.0	5.4	0.0	12.5	10.1

者は1,527名でした。合格率は52.26%、平均点は58.75点でした。

最高点は98点で、郡司勝輝さん（三菱UFJ信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈金融〉では〔問－8〕オプション取引、〔問－16〕世界の中央銀行の動向、〔問－27〕金融関連用語の3問、〈財政〉では〔問－47〕財政投融资の1問、の計4問でした。

本種目の問題は、制度や統計の枠組みなどの基本的事項を問う問題と、最近の動向を問う問題の大きく2つに分けることができます。例年、後者のほうが正解率が低い傾向にあります。最近の動向を知るためには、日頃から新聞やニュースに関心をもつことが重要です。それに加えて、長期的な視点で金融や経済の動きを捉えることが有用と考えられます。とくに、前年の動向で影響度の大きい出来事は何であったのかを整理し、そのうえ

でその出来事が社会にどのような影響を与え、前後でどのように指標が変化したのかを確認してください。本種目では、問題解説集を用いた学習だけでなく、プラスアルファの学習をすることがより求められます。

### ■デリバティブ3級

「デリバティブ3級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数855名中受験者は655名で、合格者は271名でした。合格率は41.37%、平均点は54.34点で、ともに前を下回りました。

最高点は92点で、名内秀樹さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－15〕日経平均先物と現物の裁定取引、〔問－18〕オプション取引のボラティリティ、〔問－25〕ドル償還特約付円貨債券、〔問－46〕バーゼル規制、の

〔表－7〕金融経済3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	50	1,378	663	159	224	48	74	44	130	3	71	613	3,457
応募比率	1.45	39.86	19.18	4.60	6.48	1.39	2.14	1.27	3.76	0.09	2.05	17.73	100.00
受験者数	45	1,256	566	123	192	39	70	38	91	3	60	439	2,922
受 験 率	90.00	91.15	85.37	77.36	85.71	81.25	94.59	86.36	70.00	100.00	84.51	71.62	84.52
合格者数	18	725	282	55	77	18	45	21	35	3	30	218	1,527
合 格 率	40.00	57.72	49.82	44.72	40.10	46.15	64.29	55.26	38.46	100.00	50.00	49.66	52.26
平 均 点	55.47	60.48	57.81	57.01	54.93	56.41	61.14	62.74	55.49	76.67	58.30	57.62	58.75
年 齢	27.5	30.3	36.4	34.4	36.5	33.7	31.3	30.2	32.6	36.7	39.9	35.9	33.2
勤続年数	5.6	8.1	13.8	10.9	13.6	11.5	9.1	6.7	7.4	13.0	17.4	12.3	10.4

〔表－8〕デリバティブ3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	33	459	20	15	26	5	5	2	4	1	1	284	855
応募比率	3.86	53.68	2.34	1.75	3.04	0.58	0.58	0.23	0.47	0.12	0.12	33.22	100.00
受験者数	29	389	16	13	19	4	4	2	2	1	0	176	655
受 験 率	87.88	84.75	80.00	86.67	73.08	80.00	80.00	100.00	50.00	100.00	0.00	61.97	76.61
合格者数	10	139	10	4	14	1	3	0	1	0	0	89	271
合 格 率	34.48	35.73	62.50	30.77	73.68	25.00	75.00	0.00	50.00	0.00	0.00	50.57	41.37
平 均 点	53.52	52.46	65.38	53.38	65.16	43.00	61.50	28.00	60.00	46.00	0.00	56.89	54.34
年 齢	28.6	32.7	32.0	35.9	38.9	37.8	28.8	30.0	36.5	24.0	0.0	32.5	32.7
勤続年数	7.6	10.1	9.5	13.0	15.1	13.3	6.3	7.5	17.0	0.0	0.0	7.9	9.7

4問とまんべんなく得点されていました。

〔問－15〕は、新テーマなので難度の高い問題でした。〔問－18〕は、定番のテーマではありませんが、初出の選択肢を正解としたことから、やや難度の高い問題となりました。〔問－25〕は、定番のテーマですが、直近3回が低調な結果となっていることから、受験者の方が苦手としている問題といえます。〔問－46〕は、時事的な要素を含む問題であったことから、難度の高いものでした。

本試験は、制度や仕組み、計算問題、時事問題等と幅広く出題を行いますが、今回はとくに分野毎に正解率の偏りがなかったことが特徴でした。

### ■窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数1,740名中受験者は1,593名で、合格者は369名でした。合格率は23.16%、平均点は49.49点で、ともに前を下回りました。

最高点は86点で、荒川りささん（平塚信用金庫）、吉田佳代さん（静岡県労働金庫）、小藪弘道さん（東海労働金庫）、の3名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－11〕定期性金融商品の商品性、〔問－16〕手形交換制度、〔問－17〕為替業務、〔問－18〕公的年金制度、〔問－19〕窓口に必要な税務知識、〔問－20〕金融行政、〔問－27〕預貯金者保護法、〔問－29〕

スーパー定期（複利型）の商品性、〔問－36〕個人向け国債の商品性、の9問でした。このうち数問は、毎年出題されているテーマでもあります。

本種目は、各分野における専門的・高度な知識を求めているのではなく、あくまでも基本的な知識を有しているか、そして、その知識を用いてセールスの場面でどのように活かしていくかを主眼としています。その点をふまえ、基本的には日頃の業務に即したテーマから出題しています。出題が広範囲にわたりますが、日頃の業務に関連づけて学習を進められると、より理解が深まります。

### ■法人融資渉外2級

「法人融資渉外2級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数1,220名中受験者は998名で、合格者は221名でした。合格率は22.14%、平均点は47.40点で、ともに前を下回る結果となりました。

最高点は79点で、笹川創さん（北陸銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が3点以下の問題はⅧ〔M&A〕の1問でした。M&Aは、近年社会的関心が高まっている事業承継を考える際の1つの手法ですので、顧客との会話の糸口として知識を習得しましょう。

一方、平均点が5点を越えた問題はⅠ〔増加運転資金申込と妥当性の判断〕、Ⅱ〔設備資金〕、Ⅴ

〔表－9〕 窓口セールス3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	2	694	0	171	470	93	119	11	1	0	2	177	1,740
応募比率	0.11	39.89	0.00	9.83	27.01	5.34	6.84	0.63	0.06	0.00	0.11	10.17	100.00
受験者数	2	650	0	160	435	85	107	11	1	0	2	140	1,593
受 験 率	100.00	93.66	0.00	93.57	92.55	91.40	89.92	100.00	100.00	0.00	100.00	79.10	91.55
合格者数	0	187	0	37	81	5	16	6	0	0	0	37	369
合 格 率	0.00	28.77	0.00	23.13	18.62	5.88	14.95	54.55	0.00	0.00	0.00	26.43	23.16
平均点	45.00	51.34	0.00	50.58	48.02	43.11	43.07	63.45	42.00	0.00	36.00	52.20	49.49
年 齢	31.0	29.3	0.0	28.2	30.7	30.1	29.8	30.6	62.0	0.0	48.5	32.0	29.9
勤続年数	9.0	6.8	0.0	6.2	9.2	7.5	8.6	8.8	44.0	0.0	29.0	8.0	7.7

〔信用保証協会保証付融資（債権保全の適切性）〕、  
VI〔コミットメントライン方式によるシンジケートローンの提案〕、VII〔為替予約と通貨オプションの商品比較〕、の5題でした。

本種目は、取引先に融資する際の考え方を問う記述式試験です。普段から自分の考えについてデータを明示しながら説明できる能力を身につけましょう。

**法人融資涉外3級**

「法人融資涉外3級」の成績結果は、〔表-11〕のとおりです。

応募者数1,848名中受験者は1,575名で、合格者は502名でした。合格率は31.87%、平均点は51.61点で、ともに前回は下回る結果となりました。

最高点は87点で、児嶋信太郎さん（徳島銀行）、窪田駿介さん（伊予銀行）、桑原七穂子さん（阿

波銀行）、佐竹保男さん（個人申込）、の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は五答択一式15問、事例付五答択一式20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕時事問題、〔問-5〕地価公示、〔問-12〕各種担保の特徴、〔問-30〕ROA・RAROA、〔問-32〕時効管理、の5問でした。

〈技能応用〉の3題の平均点は、各10点中、〔問題-1〕企業の財務諸表からの資金ニーズの掘り起こし3.40点、〔問題-2〕設備資金申込みへの対応4.86点、〔問題-3〕コンプライアンス5.85点でした。

択一式の正解率が30%以下となった問題が前回同様5問であったのに対して、記述式である技能応用の平均点がやや低めであったことから、全体の合格率が低くなりました。自身の考えをアウ

〔表-10〕法人融資涉外2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	7	777	3	123	121	19	0	0	0	0	0	170	1,220
応募比率	0.57	63.69	0.25	10.08	9.92	1.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13.93	100.00
受験者数	6	674	1	92	94	14	0	0	0	0	0	117	998
受 験 率	85.71	86.74	33.33	74.80	77.69	73.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	68.82	81.80
合格者数	2	158	1	10	12	3	0	0	0	0	0	35	221
合 格 率	33.33	23.44	100.00	10.87	12.77	21.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	29.91	22.14
平均点	54.83	48.23	63.00	42.16	42.82	39.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.86	47.40
年 齢	33.0	33.7	33.0	33.6	37.5	37.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.0	34.2
勤続年数	10.4	11.2	11.0	10.5	14.8	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	11.4

〔表-11〕法人融資涉外3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	34	775	0	258	475	97	15	0	1	0	1	192	1,848
応募比率	1.84	41.94	0.00	13.96	25.70	5.25	0.81	0.00	0.05	0.00	0.05	10.39	100.00
受験者数	30	680	0	216	414	88	13	0	1	0	1	132	1,575
受 験 率	88.24	87.74	0.00	83.72	87.16	90.72	86.67	0.00	100.00	0.00	100.00	68.75	85.23
合格者数	13	272	0	36	99	15	7	0	0	0	0	60	502
合 格 率	43.33	40.00	0.00	16.67	23.91	17.05	53.85	0.00	0.00	0.00	0.00	45.45	31.87
平均点	59.13	54.58	0.00	46.67	48.41	45.19	57.92	0.00	51.00	0.00	43.00	56.49	51.61
年 齢	28.5	29.5	0.0	31.5	33.7	36.2	35.2	0.0	52.0	0.0	57.0	33.6	31.7
勤続年数	5.3	7.0	0.0	9.1	11.3	13.1	10.6	0.0	2.0	0.0	35.0	10.0	9.0



トブットできる力も身につけ、普段の実務につなげられるようにしてください。

### ■ 個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数1,455名中受験者は1,325名で、合格者は594名でした。合格率は44.83%、平均点は56.23点で、ともに前回は上回りました。

最高点は93点で、細谷彬さん（伊予銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、五答択一式15問、事例付五答択一式20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉の五答択一式および事例付五答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕2017年度民間住宅ローンの貸出動向調査結果、〔問－13〕債務の消滅時効の中断、〔問－14〕事業承継（納税猶予制度）、〔問－15〕被相続人の居住用財産に係る譲渡所得の特別控除の特例、〔問－24〕延べ床面積の最大値、〔問－34〕青色申告者の一般的なメリット、の6問でした。

〈技能応用〉の事例付記述式では〔問題－2〕賃貸マンション建築アドバイスが、出題した3題のなかではやや低調な結果となりました。

解答状況については、択一式問題は全体として良好な結果となりました。正解率が低調だった問題は、制度改正等につき理解が必要な問題や基本知識に加え、応用力が必要な問題でした。記述式

問題については、全体としてはよく解答できていました。

本種目は個人にかかる渉外業務に携わるうえで必要な業務知識の習得度合いを総合的に判定するものであり、出題内容が多岐にわたります。学習に際しては、いままでの業務を通して積み重ねてきた法務・財務・税務等の基本的な知識と融資業務における基本事項にかかる知識を再確認しておくことが重要です。

### ■ 金融リスクマネジメント2級

「金融リスクマネジメント2級」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数895名中受験者は771名で、合格者は377名でした。合格率は48.90%、平均点は58.67点で、前回に比べて合格率は21.72ポイント、平均点は6.16点上回りました。

最高点は89点で、甲斐文人さん（三菱UFJ信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四答択一式35問と記述式3題で構成されています。

四答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－16〕損害保険における保険契約、〔問－22〕3つの防衛線（Three Lines of Defense）、〔問－31〕預金口座の不正利用の防止、の3問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－2〕リスクの決定要因、〔問－3〕リスク処理、〔問－4〕リスク処理手段の選択、〔問－6〕リスクの

〔表－12〕 個人融資渉外3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	8	436	1	162	397	70	239	25	2	0	3	112	1,455
応募比率	0.55	29.97	0.07	11.13	27.29	4.81	16.43	1.72	0.14	0.00	0.21	7.70	100.00
受験者数	7	406	1	145	367	67	229	21	2	0	3	77	1,325
受 験 率	87.50	93.12	100.00	89.51	92.44	95.71	95.82	84.00	100.00	0.00	100.00	68.75	91.07
合格者数	6	248	1	39	164	29	48	12	1	0	2	44	594
合 格 率	85.71	61.08	100.00	26.90	44.69	43.28	20.96	57.14	50.00	0.00	66.67	57.14	44.83
平均点	70.29	62.14	72.00	51.60	56.53	54.78	46.16	60.67	64.50	0.00	58.00	60.69	56.23
年 齢	25.6	32.0	32.0	29.8	31.1	33.2	30.9	28.2	49.5	0.0	43.7	35.2	31.5
勤続年数	3.1	9.2	9.0	8.0	9.1	10.8	8.5	6.6	26.5	0.0	23.0	10.6	9.1

調査・確認、〔問－8〕サイバーセキュリティ、〔問－20〕個人型確定拠出年金（iDeCo）、〔問－23〕金融機関の内部監査、〔問－29〕窓口における障がい者対応、の8問でした。

今回は前回に比べて、全般的に非常によく理解が及んでいることがみてとれました。金融行政方針や公益通報者保護ガイドライン等も比較的高得点の結果がでています。記述式も〔問題－37〕不安取引先をチェックする際の留意点は平均点が8点近くになるなど、学習の基礎となる部分がしっかりとしていることが窺えました。

### 金融商品取引3級

「金融商品取引3級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数1,876名中受験者は1,681名で、合格者は438名でした。合格率は26.06%、平均点は49.19点で、ともに前回は上回りました。

最高点は92点で、池野裕昭さん（横浜銀行）、穴吹実奈子さん（百十四銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－13〕契約締結前交付書面、契約締結時等交付書面、〔問－17〕預金との誤認防止措置、〔問－23〕投資信託の適時開示、〔問－24〕保険募集指針、〔問－29〕注意喚起情報、〔問－39〕投資信託販売時の禁止行為、〔問－43〕意向把握・確認義務、〔問－46〕意向把握義務、〔問－50〕デリバティブ預金の勧誘・販売、の9問でした。

いずれも過去に出題をしたテーマで、〔問－13〕〔問－17〕〔問－24〕は定番ともいえるものです。そのほかは、やや出題頻度が低いため十分な対策を行うことが難しかったのではないかと推測されます。

金融機関ではさまざまな金融商品を取り扱います。すべての商品販売にかかる規制はもちろんの

〔表－13〕金融リスクマネジメント2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	5	372	18	87	153	13	10	141	0	1	0	95	895
応募比率	0.56	41.56	2.01	9.72	17.09	1.45	1.12	15.75	0.00	0.11	0.00	10.61	100.00
受験者数	4	325	15	72	134	9	10	132	0	1	0	69	771
受験率	80.00	87.37	83.33	82.76	87.58	69.23	100.00	93.62	0.00	100.00	0.00	72.63	86.15
合格者数	1	197	8	34	52	7	3	41	0	1	0	33	377
合格率	25.00	60.62	53.33	47.22	38.81	77.78	30.00	31.06	0.00	100.00	0.00	47.83	48.90
平均点	52.00	61.43	62.73	59.39	57.13	63.44	50.40	53.48	0.00	62.00	0.00	57.87	58.67
年齢	38.5	40.3	42.7	40.1	43.2	42.1	40.6	40.9	0.0	24.0	0.0	41.3	41.0
勤続年数	16.0	17.4	21.0	17.6	21.0	17.9	16.1	16.7	0.0	2.0	0.0	17.9	18.0

〔表－14〕金融商品取引3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	54	1,100	21	93	299	16	45	31	2	0	1	214	1,876
応募比率	2.88	58.64	1.12	4.96	15.94	0.85	2.40	1.65	0.11	0.00	0.05	11.41	100.00
受験者数	53	1,001	20	84	276	15	41	29	1	0	0	161	1,681
受験率	98.15	91.00	95.24	90.32	92.31	93.75	91.11	93.55	50.00	0.00	0.00	75.23	89.61
合格者数	13	273	11	19	46	2	12	7	0	0	0	55	438
合格率	24.53	27.27	55.00	22.62	16.67	13.33	29.27	24.14	0.00	0.00	0.00	34.16	26.06
平均点	48.98	50.11	59.50	47.98	44.19	44.93	49.95	46.97	54.00	0.00	0.00	52.06	49.19
年齢	26.7	32.8	36.4	34.1	34.7	38.5	33.3	34.1	48.0	0.0	0.0	35.0	33.3
勤続年数	3.6	10.4	11.6	11.8	13.2	16.8	10.2	8.0	0.0	0.0	0.0	11.4	10.8

こと、取り扱う個別商品すべてにつき、取扱いのルールを正確に理解しておいてください。

### ■ 事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数3,652名中受験者は3,302名で、合格者は2,205名でした。合格率は66.78%、平均点は62.67点で、ともに前回(2018年3月)より少し上回りました。

最高点は90点で、宮地健司さん(尼崎信用金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-6〕監督指針におけるコンサルティング機能の発揮、〔問-8〕中小企業の課題、〔問-15〕SWOT分析、〔問-24〕取引先が属する業界の理解(医療・介護)、の4問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-2〕

金融仲介機能のベンチマーク、〔問-3〕中小企業の融資実態、〔問-5〕顧客との共通価値の創造、〔問-21〕ビジネスモデル・商流、〔問-22〕経営改善、〔問-23〕取引先が属する業界の理解(飲食業)、〔問-26〕創業・成長期の支援、〔問-29〕事業再生期の企業の課題認識と支援協力のあり方①、〔問-33〕事業再生期の企業の課題認識と支援協力のあり方②、〔問-34〕コンサルティング機能の発揮、〔問-40〕後継者不在企業への対応、〔問-41〕SWOT分析、〔問-49〕成長支援、の13問でした。

事業性評価は取引先との対話を通じて、取引先の本業を理解し本業の支援につなげていこうという取組みです。事業性評価の考え方を理解することに始まり、取引先企業を取り巻く環境や属する業界を把握し、取引先企業の成長を支援していくという考え方を本種目で身につけ、実務につなげてください。

〔表-15〕 事業性評価3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	105	1,262	2	225	1,476	209	56	1	1	1	11	303	3,652
応募比率	2.88	34.56	0.05	6.16	40.42	5.72	1.53	0.03	0.03	0.03	0.30	8.30	100.00
受験者数	101	1,159	2	202	1,343	186	53	1	1	1	11	242	3,302
受験率	96.19	91.84	100.00	89.78	90.99	89.00	94.64	100.00	100.00	100.00	100.00	79.87	90.42
合格者数	92	914	1	131	777	85	30	1	1	0	6	167	2,205
合格率	91.09	78.86	50.00	64.85	57.86	45.70	56.60	100.00	100.00	0.00	54.55	69.01	66.78
平均点	69.70	65.80	59.00	60.90	60.35	57.51	60.15	70.00	78.00	52.00	59.27	63.76	62.67
年齢	29.7	33.9	26.5	34.9	37.7	37.1	38.8	37.0	57.0	46.0	39.5	38.8	36.0
勤続年数	7.1	11.6	4.0	12.9	15.7	14.9	17.5	15.0	34.0	0.0	17.9	14.9	13.7

## 銀行業務検定試験「事業性評価3級」 2018年度特別実施のご案内

弊会では、「事業性評価3級」を2018年度においては10月も特別実施といたしますのでご案内申し上げます(下表参照)。

人事研修ご担当者の皆様方におかれましては、本試験の受験機会増加につき有効にご活用賜りたく、お願いかたがたご案内申し上げます。

実施日	試験時間	備考
第141回 2018年10月28日(日)	10:00～12:30	●特別実施(2018年度)